

治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区麹町4丁目8番26号ロイクラトン麹町
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664
ホームページ <http://www.zensuiren.org/>
お問い合わせ infoinfo@zensuiren.org
編集・発行 椿本和幸



男鹿半島南部に位置する鵜ノ崎海岸水面に
反射する夕日（男鹿市）
（東北大会秋田県）



相川金銀山「道遊の割戸」（佐渡市）
出典：「佐渡島の金山」写真ギャラリー
（北陸大会新潟県）



一級河川 五十鈴川（伊勢市）
（中部大会三重県）



石山寺本堂（秋）
出典（公社）びわこビジターズビューロー
（近畿大会滋賀県）



出雲大社（出雲市）
（中国大会島根県）



江戸時代から今に伝わる松山城（松山市）
（四国大会愛媛県）



日本一の干満差を誇る有明海
（九州大会佐賀県）

● 目次

東北地方治水大会の開催について	2	中国地方治水大会の開催について	12
北陸地方治水大会の開催について	4	四国地方治水大会の開催について	16
中部地方治水大会の開催について	6	九州地方治水大会の開催について	19
近畿地方治水大会の開催について	9		

東北地方治水大会の開催について

令和7年10月9日（木）13：30～

秋田市 ANA クラウン プラザ ホテル秋田

事務局：秋田県建設部河川砂防課内

令和7年度東北地方治水大会の事務局を担当します秋田県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

【秋田県のすがた】

秋田県は東北の日本海側に位置し、雄大な山々や琥珀の日本海、緑が輝く田園などの豊かな自然に恵まれた魅力あふれる地です。

東側には秋田駒ヶ岳、栗駒山のなどの諸火山や、田沢湖、十和田湖のカルデラ湖が形成され、多くの温泉が湧出しております。

また、北の県境には世界自然遺産に登録された白神山地が、南の県境には日本百名山の一つに数えられる鳥海山がそびえています。

さらに、西側の海岸部には米代川、雄物川、子吉川の三大河川がつくり出した大きな平野が広がるほか、美しい海岸線は男鹿半島のような景勝地を生み出しています。

総面積は11,638km²、全国で6番目の県土を誇り、その約7割を森林が占めております。古くから林業が盛んで、また稲作に適した気候風土を有し、日本屈指の米の生産地となっております。



男鹿半島南部に位置する鵜ノ崎海岸
水面に反射する夕日（男鹿市）

【河川の状況】

秋田県が管理する河川は、一級水系では、雄物川、米代川、子吉川の3水系291河川、流路延長

2,424.0km、二級水系では、馬場目川、白雪川、衣川、奈曾川等の7水系51河川、流路延長451.3km、総計10水系342河川、流路延長2,875.3kmに及んでいます。

本県を取り囲む三方の山々を水源とする河川が多く、これらの河川は農業用水や生活用水として利用されるほか、水力発電にも活用されており、人々の暮らしを支えている一方、豪雪地帯であることから春先の雪解け水による増水や、集中豪雨による氾濫のリスクなど、治水上の課題も抱えております。

【近年の災害】

気候変動の影響により水災害が全国的に激甚化・頻発化している中、秋田県でも、近年は毎年のように大規模な洪水被害が発生しております。

中でも、令和5年7月の大雨では、梅雨前線の停滞により、県内各地で激しい雨が断続的に続き、総降水量が多い所で400mmを超え、72時間雨量では6地点の気象庁所管観測所で観測史上1位の値を更新するなど、記録的な大雨となりました。

この大雨により、県内では18河川が氾濫し、多数の家屋浸水が発生しました。特に被害の大きかった地域として、秋田市では6,100棟、五城目町で600棟、能代市で300棟を超える家屋が浸水しました。

翌年の令和6年7月の大雨では、同じく梅雨前線の影響により、秋田県と山形県で記録的な大雨となりました。

県内では記録的短時間大雨情報が3回発表されるなど、6地点の気象庁所管観測所で観測史上1位の値を更新しました。一級河川子吉川を始めとする10河川が氾濫し、上小阿仁村、由利本荘市など、主に県北、県中部で多数の家屋浸水被害が発生しました。



令和5年7月豪雨 太平川周辺浸水状況
(秋田市)

【事業実施状況】

令和5年7月及び令和6年7月の大雨を受け、特に被害の大きかった流域において、短期間で集中的に取り組む「水災害対策プロジェクト」を策定し、流域のあらゆる関係者が一体となった治水対策を推進しています。

今回はその中で、令和5年7月の大雨により、特に被害の大きかった秋田市太平川流域における取組を紹介します。

■「雄物川下流圏域水災害対策プロジェクト」

令和5年7月と同規模の洪水に対し、浸水被害を大幅に軽減させるため、流域内のあらゆる関係者が連携して取り組む治水対策を取りまとめました。プロジェクトに基づきハード・ソフト一体となった取組を進めています。

雄物川下流圏域水災害対策プロジェクト

←秋田河川国道事務所

ホームページ

QRコード

■太平川河川整備

氾濫により甚大な浸水被害の発生した太平川において、再度災害軽減のため「河川激甚災害対策特別緊急事業」が採択され、短期間で集中的な河川整備が可能となりました。

- ・事業費：195億円
- ・事業延長：4.6km
- ・事業期間：令和5年度～令和10年度
- ・事業内容：掘削、護岸 ほか

現在、下流側2.3km区間で本格的な工事を進めているほか、残る上流側区間も工事に着手したと

ころであり、引き続き早期完成に向けて事業の推進を図って参ります。

■特定都市河川指定

市街化の進展した秋田市中心部においては、太平川からの外水氾濫に内水氾濫が重なったことで被害が拡大しました。この被害を受け、令和6年11月に市街地を流れる旧雄物川流域の6河川を特定都市河川に指定しました。



旧雄物川特定都市河川指定流域

今後は早期に流域水害対策計画を策定し、計画に基づき、河川や下水道等のハード対策に加え、土地利用規制等のソフト対策を含めた流域治水の取組を加速化させて参ります。

【東北地方治水大会の開催】

10月9日(木)に令和7年度の東北地方治水大会を秋田市で開催いたします。

本大会の特別講演では、東京大学大学院の特別研究員である高橋今日子様より、地域コミュニティの観点から、災害に強いまちづくりについてご講演いただきますので、ぜひご聴講ください。

最後に、秋田県は美しい自然に加え、秋田市の竿燈、大曲の花火、男鹿のなまはげ、横手のかまくらなど県内各地で見られる多彩な祭りや伝統文化があり、四季折々に変化する景観や風物詩を楽しむことができます。

大会が開催される10月は、目にも鮮やかな秋の紅葉に加え、きりたんぼ鍋や稲庭うどんなどの郷土料理の数々、乳頭温泉郷をはじめとする県内各地の特色ある温泉等が皆様を歓迎いたします。皆様のご来県を心からお待ちしております。

北陸地方治水大会の開催について

令和7年10月22日（水）13:10～
新潟市 新潟グランドホテル
新潟県土木部河川管理課

令和7年度北陸地方治水大会の事務局を担当します新潟県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

【新潟県のすがた】

新潟県は、本州の日本海沿岸のほぼ中央部に位置し、東側には朝日山地、飯豊山地、越後山脈が連なり、西側には妙高山がそびえています。これらの山岳地帯を源として、信濃川や阿賀野川など数多くの河川が日本海に注いでいます。川の下流には越後平野、高田平野など広大で肥沃な平坦地が広がり、全国有数の米の産地となっています。

気候・風土は、おおむね阿賀野川を境として、南側は北陸型、北側は東北型に入ります。魚沼地方や上越地方は日本でも特に積雪量の多いところ です。

面積は12,584 km²で全国5位、また本州側の海岸線は330.2kmと非常に長く、変化に富んだ海岸美を形成しています。砂丘が発達しているところも多くあります。

新潟市の北西約45kmには佐渡島が、その北東には粟島があります。佐渡島は、周囲280.9km、面積855.68 km²で、北に金北山を主峰とする大佐渡の山地、南は小佐渡の山地が平行して走り、中央部に国中平野が広がっています。

トキが舞う自然豊かな佐渡は鉱物資源に恵まれた島で、江戸時代に鉱山開発が本格化し、金を産出する島として広く知られるようになりました。「佐渡島（さど）の金山」は、16世紀末から19世紀半ば、世界の他の地域において採鉱などの機械化が進んだ時代に、高度な手工業による採鉱と製錬技術を250年以上に渡り継続した、アジアにおける他に類を見ない貴重な文化遺産として、昨年7月に世界遺産に登録されました。



相川金銀山「道遊の割戸」

（出典：「佐渡島の金山」写真ギャラリー）

【河川の現状】

本県は、我が国最長の信濃川をはじめとして荒川、阿賀野川、関川、姫川の一級水系767河川と二級水系400河川を合わせた合計1,167河川、総延長約5,174 kmを有しております。そのうち延長約4,900 kmが、新潟県管理河川となっており、県では限られた予算の中で早期に浸水被害の解消、軽減を図るため、水害対応等、河川の重点的整備や河道流下能力の低い箇所を安全度を段階的に上げるなど、効果的、効率的な整備を進め、防災・減災などによる安全・安心の向上を図っているところ です。

【近年の災害発生状況と今後の取り組み】

本県は、過去に多くの災害を経験しており、近年においても、気候変動の影響等から集中豪雨による浸水被害を受けています。

令和4年8月3日から4日にかけて、日本海からのびる前線が停滞し、線状降水帯による非常に激しい雨が降り続けました。新潟地方気象台は、

「顕著な大雨に関する新潟県気象情報」を計3回発表し、さらに、村上市、関川村及び胎内市に対して、大雨特別警報（レベル5）を発令しています。

坂町観測所（村上市）では、降り始めから8月4日12時までの累計雨量が589mmを観測したほか、22観測所で累計雨量250mmを超えました。

これにより、住宅の全半壊及び床上・床下浸水2,400棟以上となり、坂町駅周辺では、市街地全域で大規模な浸水被害が発生しました。

この豪雨を契機に、「荒川水系緊急治水対策プロジェクト」がとりまとめられ、流域内の国、県、市町村が連携して治水対策を進めています。県では、一級河川春木山大沢川における浸水被害の低減を図るため、河川等災害復旧助成事業及び河川災害復旧等関連緊急事業により、河道拡幅工事に加えて、追加対策として輪中堤を整備しています。

全体の約6割の区間で河道拡幅工事が完了し、今後は、橋梁等の構造物工事に着手していきます。



整備が進む春木山大沢川

豪雨災害から県民の生命、財産を守るためには、ハード対策を着実に推進することに加えて、ソフト対策も充実させることが必要です。

本県では、水害リスク空白地帯の解消に向けた洪水浸水想定区域図の作成や学校の防災教育を支援するための「新潟県マイ・タイムライン教室」の実施、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援等に取り組んでいます。

また、気候変動に伴い、激甚化・頻発化する豪雨災害に対しては、行政に加え、企業や住民などあら

ゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」を一層推進する必要があります。

本県においては、令和4年の豪雨により大きな被害を受けた一級河川烏川（村上市、胎内市）および一級河川前川、太田沢川（関川村）を令和7年3月に本県初の特定都市河川に指定しました。これにより、ハード整備に加え、あらゆる関係者の協働による水害リスクを踏まえたまちづくり、流域における貯留・浸透機能の維持、向上等を推進することとしております。

【北陸地方治水大会の開催】

さて、10月22日（水）に北陸地方治水大会を新潟市で開催いたします。

会場となる新潟グランドホテルは、全長約367kmを誇る日本一長い信濃川の河口近くに位置し、国指定重要文化財「萬代橋」を一望できるほか、対岸の朱鷺メッセや周辺の都市景観を合わせた絶景が楽しめます。

また、世界遺産がある佐渡島へは、対岸の新潟港から高速船ジェットfoilに乗り、1時間程度で到着することができます。

大会が開催される10月は、秋の味覚を堪能できる美味しい季節です。収穫されたばかりの新米とともに、日本海の海の幸や全国屈指の酒どころ、新潟の地酒をぜひ楽しんでいただきたいと思います。

皆様のご来県を心からお待ち申し上げております。



ル レクチェ・にいがた和牛・新潟産えだまめ・越後姫

中部地方治水大会の開催について

令和7年10月28日（火）13:30～

津市 津リージョンプラザ お城ホール

事務局：三重県県土整備部河川課内



一級河川 五十鈴川（伊勢市）

令和7年度の中中部地方治水大会の事務局を担当します三重県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

【三重県のすがた】

三重県は、日本列島のほぼ中央、太平洋側に位置し、東西約10～80km南北約180kmで南北に長い県土となっています。中央部を流れる櫛田川に沿って日本で一番大きな断層の中央構造線によって、北部地域、南部地域に県土が分けられます。北部地域は東に伊勢湾を望み、北西には養老、鈴鹿、笠置、布引等700～800m級の山地、山脈が連なっています。一方、南部地域の東部にはリアス式海岸が志摩半島から熊野灘に沿って紀伊半島東部を形成し、西部には紀伊山地が形成されています。

【河川の概要】

県内を流れる河川は、一級河川7水系362河川、二級河川73水系192河川があります。このうち、国が一級河川7水系37河川、延長約234kmを管理し、県は一級・二級あわせて80水系546河川、延長約2,310kmを管理しています。

【近年の被害】

三重県は、温暖な気候を有する反面、地理的に台風の経路となることが多く、これまでも台風による大きな被害を受けてきました。

特に被害が大きかった災害には、昭和34年9月26日の伊勢湾台風があります。この時は強風による吹き寄せと低気圧による吸い上げによって起こった高潮により、県内で死者・行方不明者1,233人、負傷者5,688人という大きな被害が発生しました。

その後、昭和49年の七夕豪雨や昭和57年の台風第10号でも甚大な被害が発生しています。

近年では、平成16年9月の台風第21号により、三重県の中南部を中心に大きな被害を受け、赤羽川、船津川や横輪川などで破堤したほか、多くの河川で堤防の決壊や越水などが発生し、伊勢市、海山町（現紀北町）、紀伊長島町（現紀北町）で大規模な浸水被害がありました。

また、平成23年9月には紀伊半島大水害が発生し、県南部の相野谷川で破堤したほか、井戸川や志原川などの河川で堤防の決壊や越水などが多数発生し、熊野市、御浜町、紀宝町の居住地域等で大規模な浸水がありました。



二級河川井戸川の氾濫状況
(H23 台風第12号熊野庁舎・熊野市)

さらに、平成29年10月の台風第21号により、伊勢市の宮川下流域で、累積雨量が観測史上最大の584mmを記録しました。これにより、伊勢市内では1,800棟以上の浸水被害が発生しました。



一級河川勢田川流域の浸水状況
(H29 台風21号外宮参道・伊勢市)

【治水対策】

気候変動の影響により増大する水害リスクに備えるため、あらゆる関係者が協力して流域全体で取り組む「流域治水」をさらに加速化・深化させることが重要となります。本県では、令和4年3月に策定した県内二級水系の「流域治水プロジェクト」について、事業の着実な進捗を図るとともに、施策の水平展開により流域治水の裾野を広げるため「流域治水プロジェクト」の見える化を行いました。また、広報誌やラジオ、SNSの活用や県施設・大学でのパネル展示などにより、流域治水の普及・啓発にも取り組んでいます。

さらに、一級河川雲出川のバックウォーターの影響により浸水被害が頻発している中村川・波瀬川・赤川流域において、法的枠組みを活用して「流域治水」を一層推進するため、令和5年3月に特定都市河川に指定しました。「令和6年6月には流域水害対策計画」を策定し、国、本県、津市・松阪市等が連携しながら計画に基づく取組を推進しています。

本県の河川は、河口部の横断構造物がネックとなっている河川が多く、河川整備率が約40%と低い水準にとどまっています。このため、国土強靱化予算を活用しながら治水対策を優先し、効率的・効果的な河川改修に取り組んでいます。また、河川の堆積土砂撤去については、令和11年度まで延伸された緊急浚渫推進事業や砂利採取制度を活用し、積極的に取り組んでいます。

さらに、南海トラフ地震等の大規模地震への備えとして、河口部にある大型水門や排水機場の耐震対策を進めるとともに、ゼロメートル地帯における堤防の耐震対策を優先して実施しています。

個別の対策として、鳥羽市の二級河川加茂川水系では、過去に幾度となく洪水氾濫による被害が発生しており、令和5年度から支川の鳥羽河内川において鳥羽河内ダム建設に着手しました。鳥羽河内ダムは洪水調節専門の流水型ダムであり、流域の治水安全度の向上が期待されています。



鳥羽河内ダム完成イメージ図



令和7年7月31日時点

ソフト対策としては、令和4年度に、全ての県管理河川において洪水浸水想定区域図の公表を完了するとともに、令和3年度に策定した「河川DX中期計画」により、水防活動や住民の適切な避難行動を促すため、重点監視箇所102箇所を選定し、簡易型監視カメラと水位計をセットで設置しており、令和7年度中に102箇所への設置が完了する見込みです。令和6年8月の台風10号豪雨では、松阪市内を流れる二級河川百々川などにおいて迅速な河川状況（増水・溢水）の把握に寄与しました。



伊勢内宮前 おかげ横丁

【中部地方治水大会の開催】

令和7年度の中中部地方治水大会の開催は、10月28日（火）に津市で開催されます。三重県には、「お伊勢さん」として古くより親しまれた伊勢神宮や、世界遺産にも登録されている風光明媚な熊野古道などの観光名所、また、松阪牛や四日市とんてき、伊勢志摩の海の幸などの様々なグルメがあります。特に今回の会場となる津市は、過去に鰻の消費量と店舗数が日本一になったことがあるほど鰻で有名な町ですので、お越しの際は是非ご賞味ください。

皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。



津市ご当地グルメ 鰻

近畿地方治水大会の開催について

令和7年10月16日（木）14：00～

大津市 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

事務局：滋賀県土木交通部流域政策局内

令和7年度近畿地方治水大会の事務局を担当します滋賀県から、本県の紹介と大会の御案内をさせていただきます。

【滋賀県のすがた】

滋賀県は日本列島のほぼ中央に位置し、4,017.38 km²の面積を有しており、国土の1%を占め、47都道府県中38番目の大きさで、北は福井県、東は岐阜県、南東は三重県、西は京都府と接しています。日本海側の若狭湾と太平洋側の伊勢湾・大阪湾の湾入によって形づくられた地峡部に当たります。

中央部に日本最大の湖である琵琶湖があり、周囲を伊吹、鈴鹿、比良、比叡などの山々に囲まれ、近江盆地を形成しています。面積は、670.25 km²で滋賀県全体の面積の約6分の1を占めています。琵琶湖の周辺はこれらの山々から流れ出る大小の河川が扇状地や三角州をつくりながら湖に注ぎ、特に姉川、愛知川、日野川、野洲川、安曇川などの下流の平野は、近江の穀倉地帯と呼ばれています。



石山寺本堂（秋）（大津市）

（（公社）びわこビジターズビューロー）

【河川の現況】

本県の一級河川は509本（直轄13河川含む）あり、岐阜県境の木曾川水系藤古川、福井県境の北川水系北川（天増川）、寒風川、棕川の4河川を除くと、全て淀川水系となっています。

一級河川のうち、直轄河川管理区間は13河川67km、指定区間は504河川（うち4河川は湖沼）2,252kmで合計2,319kmにも及びます。

また、琵琶湖に直接流入する一級河川は117本ありますが、琵琶湖から流れ出る河川は、瀬田川の1本だけです。



瀬田川クルーズ 外輪汽船一番丸と桜
（（公社）びわこビジターズビューロー）

【近年の災害と事業実施状況】

令和3年8月11日から19日にかけて、西日本から東日本の広い範囲で大雨となり、総降水量が多いところで1,200ミリを超える記録的な大雨となりました。

滋賀県では13日の夕方から発達した雨雲が次々と断続的に流れ込み、15日にかけて南部・湖東地域を中心に記録的な大雨となりました。

8月11日の大雨注意報発表から21日の注意報解除までの総雨量（国・県管理雨量局）は、大津

市大津で 365 ミリ、多賀町保月で 355 ミリ、大津市山中で 348 ミリを観測するなど、各地で 8 月 1 か月分の降水量を上回る大雨となりました。人的被害はなかったものの、県内各地で 53 棟の床上・床下浸水や道路法面の崩壊による通行止めなどの被害が発生しました。

また、大津市の柳川で河川埋そくが発生するなど、際川（大津市）、草津川（草津市）、幸津川（守山市）など 27 河川 48 か所で、河川埋そくや護岸欠損などの被害が確認されました。

令和 4 年には、7 月から 8 月にかけて、人的被害・住家被害を伴う大雨が発生しました。

7 月 19 日には、近江八幡市付近で 1 時間に約 90 ミリの記録的短時間大雨情報が発表されるなど、昼前から昼過ぎにかけて、各地で短時間集中豪雨が観測されました。

この大雨により、鉄道をくぐる地下道や低い道路で冠水被害が発生し、近江八幡市の地下歩道で 72 歳の女性が溺死するという、痛ましい被害が発生しました。

また各所で通行止めとなったほか、県内各地で 35 棟の床上・床下浸水などの被害も発生しました。

8 月 4 日から 5 日にかけて、日本海の前線が近畿地方を南下し、この前線に向かって流れ込んだ暖かく湿った空気の影響で滋賀県では大気の状態が非常に不安定となり、湖北を中心に大雨となりました。

8 月 4 日の明け方には、長浜市中河内で 1 時間に 85 ミリ、今市で 61 ミリを観測し、5 日には長浜市付近で 1 時間に約 90 ミリの記録的短時間大雨情報が発表されました。この大雨により、姉川や高時川で水位が上昇し、高時川では川合地先で氾濫し、建物 2 棟が半壊、24 棟で床上・床下浸水の被害が発生したほか、道路の通行止めなども発生しました。



高時川の様子（長浜市余呉町菅並）

国土交通省は、気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対し、防災・減災が主流となる社会を目指し、「流域治水」の考え方に基づいて、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進することとしています。

本県においても、どのような洪水にあっても命を守り、壊滅的な被害を防ぐ治水対策を構築していくため、滋賀県が進める多面的な治水政策の道しるべとして、「滋賀県流域治水基本方針-水害から命を守る総合的な治水を目指して-」を平成 24 年 3 月に策定し、従来の治水施設の整備、いわゆる「川の中の対策」に加えて「川の外対策」をも並行し、自助・共助・公助が一体となってハード・ソフトのあらゆる手段を総合的に進めていくこととしました。

平成 26 年 3 月には「滋賀県流域治水の推進に関する条例」が可決され、主にハード事業による「ながす」対策のほか、「ためる」「とどめる」「そなえる」対策を進めてきたところです。

令和 7 年 7 月には滋賀県流域治水推進審議会から、条例に基づく取組の検証に係る答申をいただいたところであり、今後、具体的な制度改善や制度設計の検討を進めてまいります。

【近畿地方治水大会の開催】

10月16日（木）に大津市内において近畿地方治水大会を開催いたします。

会場となるびわ湖ホールは琵琶湖畔に位置する国内有数の芸術劇場であり、その位置する大津市内には、令和6年の大河ドラマ「光る君へ」ゆかりの地である石山寺や、天台宗総本山である比叡山延暦寺など、多くの歴史的文化遺産が存在します。

会場近くの大津港からは、日本最大の湖である琵琶湖をめぐるクルーズ船も運航しております。

雄大な自然や貴重な文化財をはじめ、たくさんの魅力であふれている滋賀県に是非ともお越しください。

中国地方治水大会の開催について

令和7年10月15日（水）13:00～
松江市 くにびきメッセ
島根県土木部河川課

今年度の中国地方治水大会事務局を担当します島根県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

【島根県のすがた】

島根県は、中国地方の北部にあり、東は鳥取県、西は山口県、南は中国山地をへだてて広島県と接しています。また、北は日本海に面しており、島根半島の北方40～80キロの海上には、島前・島後などから成る隠岐諸島があります。

県の人口は約67万人で全国46位となっており、今から100年前の1925年（大正14年）の人口は約72万人であることから、大正時代よりも人口が少ないこととなります。こうした状況を踏まえ、島根県では県行政における最上位計画「第2期島根創生計画」を今年3月に策定し、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を実現するため、様々な政策・施策に取り組んでいます。

県の特徴として、県土が東西に長くおよそ230キロあり、約1,027キロに及ぶ海岸線の青く澄んだ美しさや、県土の約8割を占める広大で緑豊かな山野など、豊かな自然に恵まれています。中でも「国譲り神話」の舞台となった「稲佐の浜」を中心に海、砂浜、夕日の織りなす幻想的な風景は、「日が沈む聖地出雲」として日本遺産に認定されています。

また、その地勢と旧令制国のなごりから、出雲（いずも）地方・石見（いわみ）地方・隠岐（おき）地方の3つの地域に分かれ、方言や文化もそれぞれの地方で少しずつ異なっています。

出雲地方には、縁結びの最強スポット「出雲大社」や国宝「松江城」、石見地方には、世界遺産「石見銀山」、隠岐地方には、ユネスコ世界ジオパーク

「隠岐諸島」など、長い歴史の中で培ってきた数多くの観光スポットがあり、国内外から多くの観光客が訪れています。



<左:稲佐の浜（出雲市）>
<右:出雲大社・拝殿及び本殿（同上）>



<左:石見銀山・大森の町並み（大田市）>
<右:石見銀山・龍源寺間歩（同上）>



隠岐の島町より提供

<左:隠岐諸島・国賀海岸（西ノ島町）>
<右:隠岐諸島・ローソク島（隠岐の島町）>

【河川の現況】

県内の河川の多くは中国山脈に端を発し、北斜面を流下して日本海に注いでいます。河川法の適用を受ける河川は一級河川が斐伊川水系・江の川水系・高津川水系の計3水系で457河川、河川延長は約2,300キロで、二級河川が浜田川水系など71水系で145河川、河川延長は約660キロとなっています。このほか河川法が準用される準用河川が35水系で128河川、河川延長は約140キロとなっています。

一級河川の斐伊川、江の川、高津川は古来よりその流域の発展に大きな影響を与えており、中でも県東部を流れる斐伊川は、その流域が古代から現代に至るまで、山陰地方の政治、文化、経済の中心として発展してきました。また、中国山脈を貫流し日本海へ注ぐ中国地方最大の河川である江の川は、山陽と山陰を結ぶという点で古くから交易の要路とされてきました。さらに県西部にある益田平野の発展に大きく寄与した高津川は、国土交通省が取りまとめている、一級河川の水質現況において「水質が最も良好な河川」の1つに令和6年度も選ばれており、今回で9回目の水質日本一となりました。



＜清流日本一 高津川（益田市）＞

【近年の災害と事業実施状況】

島根県はその地理や気候、そして県下全域が特殊土壌地帯(マサ土)に指定されており、風化侵食を受けやすい地質であることから、これまで幾多の災害により大きな被害に見舞われてきました。

○3年で3度の浸水被害 江の川

県中部を流れる江の川とその流域では、近年も浸水被害が頻発しており、平成30年7月に続き、令和2年7月にも広範囲にわたり浸水被害が発生しました。

これを受け、国土交通省では、2度の家屋浸水被害が発生した地区を「緊急対策特定区間」に設定し、重点的に河川整備が進められています。その後の令和3年8月も含め、わずか3年余りの間で3度の浸水被害が発生しました。

国・県及び流域市町では、被害の頻発化や過疎化などの地域特性からも効率的・効果的な治水対策が必要であり、あらゆる関係者が一体となって治水対策に取り組む流域治水の考え方のもと、河川整備とまちづくりの一体的な推進のための基本方針となる「江の川中下流域マスタープラン」を策定しました。

このうち、川本町の谷地区では、町が進めるまちづくり計画と国・県が進める治水事業が一体となり、国・県・町が連携して事業を推進しています。



＜江の川（谷地区） 浸水状況＞



＜江の川（谷地区） 完成イメージパース＞

○平成以降最大の被害額 令和3年災

令和3年には、7月と8月の2か月の間に4回の大雨に見舞われ、県全域にわたって被害が発生しました。前述の江の川流域以外にも、県東部では、梅雨前線の停滞により、線状降水帯が発生するなど400ミリを超える大雨となり、平野部での浸水被害や、山間部を中心に護岸崩壊などの施設被害が数多く発生し、平成以降で最大の公共土木施設被害額となりました。

災害復旧に合わせて一連区間の改良等を行う災害関連事業も取り入れながら、早期完成に取り組むとともに、「防災・減災対策等強化事業推進費」を活用した河道掘削工事により水位低減を図り、再度災害の防止にも取り組みました。



＜三刀屋川 推進費による河道掘削後＞

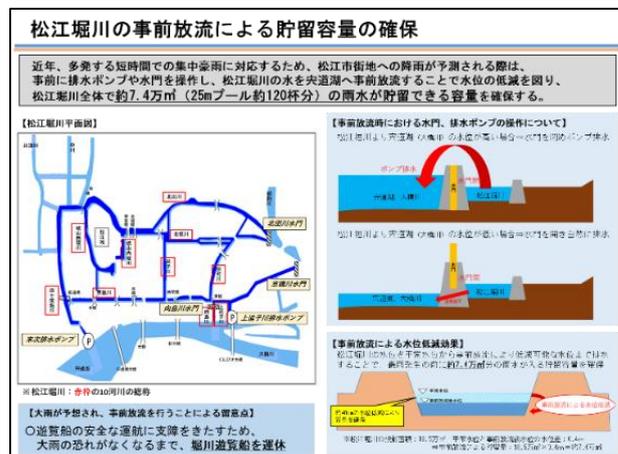
○既存施設も活用 緊急浸水対策

昨年の7月には県東部の松江市や出雲市の市街地で12時間雨量が観測史上最大を記録する大雨となり、市内各所で家屋浸水や道路冠水が多数発生しました。

県では、人口が集積し河川整備が遅れている県東部市街地の浸水対策をこれまでも重点的に進めてきましたが、市街地部での河川改修には長期間と多額の費用を要することが課題となっていました。

このため、両市とも連携し、従来の河川改修に加え、既設護岸の嵩上げや内水排除のための小型

ポンプの設置、水門・樋門の遠隔操作化など、浸水被害を低減するための緊急浸水対策を実施しています。このうち、松江市街地の松江堀川では、その特性を活かし、既存施設を活用した事前放流の取り組みも行っています。



＜松江市街地緊急浸水対策 事前放流＞

【中国地方治水大会の開催】

10月15日（水）に令和7年度中国地方治水大会を松江市で開催いたします。会場の「くにびきメッセ」はJR松江駅から徒歩で約7分の場所にあります。

会場周辺には、2015年に国宝指定された「松江城」や松江城のお堀に浮かんで、松江のまちをゆったり進む「堀川遊覧船」などがあり、また日本三大そばの一つ「出雲そば」が味わえる飲食店もあるエリアとなっています。

また、今年の秋から放送予定のNHK連続テレビ小説「ばけばけ」のモデルとなった小泉八雲・セツが過ごし、愛した町としても知られる松江城周辺の観光施設をお得に巡るキャンペーン「あげ、そげ、ばけ、めぐり」を実施中です。（松江市でのロケも行われました）

是非この機会に島根に訪れていただき、小泉八雲も歩いた松江のみならず、島根県内各地の魅力を十分にご満喫ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



<左：松江城・堀川遊覧船（松江市）>

<右：小泉八雲とセツのドラマをイカしてバケる
松江推進協議会 公式ロゴマーク>

四国地方治水大会の開催について

令和7年10月20日13:15～

松山市 ANA クラウン プラザ ホテル松山

愛媛県土木部河川港湾局河川課

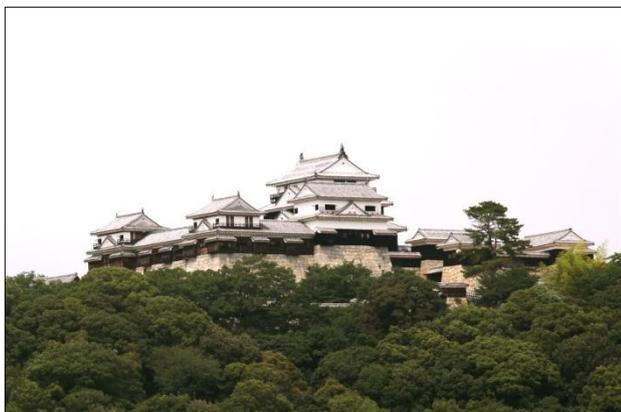
令和7年度の四国地方治水大会の事務局を担当します愛媛県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

【愛媛県のすがた】

愛媛県は、四国の北西部に位置し、日本一長い半島である佐田岬半島を境に、瀬戸内海と宇和海の2つの海に面しています。

多島美で知られる瀬戸内海とリアス式海岸や南部海域でサンゴが見られる宇和海は、ともに国立公園に指定されており、愛媛県民のみならず、全国各地から多くの観光客が訪れています。一方、山に目を転じますと、西日本最高峰の石鎚山をはじめとする四国山地がそびえており、その谷間を清水が流れ、魚や昆虫などが多く生息し、多様な自然環境を育んでいます。このように、愛媛県には、海に山に豊かな自然があふれています。

また、松山城、道後温泉本館、内子町や西予市の古い町並みなど、多くの文化財を有しているほか、正岡子規をはじめとする多くの俳人が育った「俳句王国」として知られるなど、歴史と伝統ある文化が今も残されています。



江戸時代から今に伝わる松山城

本県の瀬戸内海側では、年間降水量はおよそ1,200～1,550mmと、全国平均の約1,700mmより少ない状況にあり、また、河川の多くは、分水嶺が県境よりも瀬戸内海側に迫っており、本県に降った雨はその多くが他県に流出してしまう地形特性を有していることから、過去に、しばしば渇水に見舞われてまいりました。

また、地形的に急峻な山稜が海岸線に近接しているため急流の単流河川が多く、平常時は表流水が少ないものの、いったん豪雨があると一挙に土砂を押し流す濁流の出水となって、沿岸地域に氾濫し、今日まで多大な被害を与えてきました。

今年の四国地方は、観測史上最も早い6月下旬に梅雨明けしたあおりを受け、中予地域では短期間ではありますが、取水制限が実施されるなど、渇水となりました。一方で、昨年には同地域で記録的短時間大雨情報が発表され、1時間降水量が観測史上最大を記録した降雨により大規模な浸水被害が発生するなど、本県は、水害や渇水が繰り返し発生しやすい環境にあります。

【河川の現況】

本県を流れる河川は、重信川、肱川などの一級水系745河川、二級水系412河川で、合計1,157河川が流れており、総延長は全国6位となる約3,070kmとなっておりますが、時間雨量40mmに対応できる県管理河川の整備率は、令和6年度末現在で46.5%にとどまっております。

【近年の浸水被害と今後の取組方針】

本県では、梅雨前線や台風による豪雨などにより、過去に幾度となく甚大な浸水被害を受けております。

特に、平成30年7月の西日本豪雨では、一級河川肱川(大洲市・西予市)が氾濫し、流域全体で浸水面積約1,400ha、浸水家屋約4,700戸に及ぶ被害が発生したほか、二級河川立間川(宇和島市)でも、約1,700戸が浸水するなど、南予地域を中心に県下全域で甚大な被害が発生しました。また、令和6年11月の大雨では、二級河川大川・久万川(松山市)が氾濫し、大規模な浸水被害が発生するなど、気候変動による豪雨の増加等により治水安全度が低下していることから、市街地を流れる河川の治水対策が喫緊の課題となっております。



H30.7月豪雨で氾濫する肱川(大洲市菅田)



R6.11月豪雨で氾濫する大川(松山市鴨川)

このような背景を踏まえて、近年、激甚化・頻発化している水災害に対し、県と市町等の関係機関、行政と住民がより一層連携を強化して、ハード・ソフトが一体となった洪水対策を推進するこ

ととしております。

ハード対策では、浸水履歴や背後地の人口・資産の状況など、緊急性・重要性等を総合的に判断し、選択と集中を図りながら、効率的・効果的な河川整備に努めており、近年全国各地で毎年のように発生している堤防決壊等による大規模水災害を踏まえ、堤防整備・河道拡幅(洪水を安全に流すハード対策)に加えて、越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策工(危機管理型ハード対策)にも取り組んでいます。

また、ソフト対策としては、洪水時における市町の水防活動や住民の避難を支援することを目的に、西日本豪雨以降、危機管理型水位計を147箇所、河川監視カメラを33箇所、設置しました。その上、水防警報および水位周知河川として新たに14河川を指定し、中小河川を含めた洪水浸水想定区域図を作成・公表することで、地域住民のさらなる実効性のある避難行動を支援しています。

その他、切迫する南海トラフ地震に備え、水門・樋門等の耐震化や海岸事業と連携する堤防嵩上げ等の地震・津波対策と今後急速に老朽化が進行する河川管理施設の延命化や維持管理費用の縮減を図る老朽化対策を合わせて、本県では、①豪雨対策、②地震・津波対策、③老朽化(長寿命化)対策を治水対策の三本柱として、事業を展開しております。

さらに、近年の気候変動の影響による水害リスクの増大に備え、国が提唱する流域治水を本県でも積極的に推進しており、現在、一級水系肱川及び重信川に加え、二級水系など合わせて31水系において、流域治水プロジェクトを策定しております。また、流域治水のより一層の普及・推進を図るため、「流域治水マニュアル」の策定や「流域治水ロゴマーク」の作成、「愛媛県流域治水推進企業等登録制度」の創設のほか、「流域治水模型」を用いた体験学習の実施など、愛媛県独自の様々な取り組みを行っております。

これらに加え、流域治水の実効性をさらに高め

るため、一級河川都谷川（大洲市）を令和5年4月に四国で初めて特定都市河川に指定し、従来のハード整備に併せて、河川管理者と流域住民が一体となり、流域内の総合的な浸水被害対策に取り組んでいます。今後は、流域治水を着実に実施していくため、これらの取組みを県内全域に展開し、国・県・市町等の関係者が一体となって地域の安全・安心の確保に取り組むこととしております。



完成した肱川の堤防整備（大洲市菅田）R7.4月時点

【四国地方治水大会の開催】

最後になりましたが、毎年開催されております四国地方治水大会は、今年10月20日(月)に県都松山市にて開催することとなりました。

大会会場である松山市は、山頂に松山城がそびえたつ勝山(標高132m)を中心として、道後温泉や近代俳句の祖・正岡子規に関する多彩な資料を展示している子規記念博物館、司馬遼太郎の小説「坂上の雲」をテーマにした「坂上の雲ミュージアム」など、たくさんの観光施設があります。

また、日本で初めてとなる海峡を横断する自転車道を有するしまなみ海道でレンタサイクルを利用し、海と島が織りなす瀬戸内海的美しさを味わうことなどもできますので、ぜひ松山城やこれらの観光施設を訪れることをお勧めいたします。

皆様方がご来県の際には、愛媛の歴史や文化に触れて、新しい愛媛を発見していただくとともに、

瀬戸内の豊かな自然と食を堪能していただければ

と思います。

皆様のお越しを心からお待ち申し上げております。



多島美の瀬戸内海を横断するしまなみ海道

九州地方治水大会の開催について

令和7年10月7日（火）13:30～
佐賀市 ホテルグランデはがくれ
佐賀県県土整備部河川砂防課

令和7年度の九州地方治水大会の事務局を担当します佐賀県から、本県の紹介と大会の御案内をさせていただきます。

【佐賀県のすがた】

佐賀県は九州の北西部に位置し、東は福岡県、西は長崎県に接し、北は玄海灘、南は有明海に面しています。

東京までの直線距離は約900km、大阪までは約500kmであるのに対し、朝鮮半島までは約200km足らずと近接しており、大陸文化の窓口として歴史的、文化的に重要な役割を果たしてきました。

佐賀県の地形は、地質的にみると、3つの地域に大別することが出来ます。第一は県の東北部を占めている天山～脊振山塊地域で、筑紫山地の西半分を構成します。第二は第一の山塊の西側ないし西南側にある丘陵地帯で、長崎県の北部地域に続き、上場台地を形成し、玄界灘に突き出ています。第三は県南部を占める佐賀平野で、いわゆる筑紫平野の西半分をなす、全国でも有数の穀倉地帯を形成しています。



日本一の干満差を誇る有明海

【河川の現況】

佐賀県は、佐賀平野に代表される広大な低平地を有し、洪水時の河川水位に比べ地盤が低い地形のため、河川が氾濫した場合には広域的かつ長時間にわたり浸水が続き、甚大な被害につながりやすく、また、内水被害も生じやすいなど水害の危険性が高い条件下にあります。

戦後の主な水害としては、昭和28年6月、昭和47年7月、昭和55年8月、昭和57年7月、平成2年7月洪水が挙げられ、近年においても平成21年7月、平成24年7月、平成29年7月、令和元年8月、令和2年7月、令和3年8月、令和5年7月の豪雨によって床上や床下浸水等の甚大な被害を受けています。

特に令和元年8月の豪雨では、九州南部付近にあった前線が、27日には対馬海峡付近までに北上し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部地方では大気の状態が非常に不安定となり、記録的な大雨となりました。その影響で、六角川、牛津川の水位が上昇し、床上浸水1,640棟、床下浸水2,697棟に及ぶなど大きな被害を受けました。

これらの水害を受けて、これまで激特事業や河川改修事業に取り組んでいるところですが、いまだ治水安全度が確保された状況とはほど遠く、地域住民が安全で安心して暮らせるような社会を実現するためにも、治水対策を着実に進め、早急に治水安全度の向上を図ることが急務となっています。



令和元年8月豪雨（武雄市）



令和3年8月豪雨（嬉野市）

【近年の浸水被害と治水対策】

前述のとおり、佐賀県では、令和元年8月と令和3年8月の豪雨により、内水氾濫による甚大な浸水被害が発生しました。

この出水を契機に佐賀県内水対策プロジェクト、通称「プロジェクトIF（イフ）」を立ち上げ、取組を進めています。

「プロジェクトIF（イフ）」は、防災監である副知事をトップに、庁内では、危機管理を所管する危機管理・報道局、農地防災等を所管する農林水産部及び河川や道路等を所管する県土整備部、また、国や市町等を含めた流域全体で構成し、部局、組織を横断する体制になっています。



「プロジェクトIF（イフ）」の「IF（イフ）」は、内水氾濫を英訳した「Inland water Flooding」の頭文字を取ったものです。また、気候変動へも対応していく必要性もあり、「もし（IF）」こんなこ

とが起きたとしたらどう対応するのか、そのためにどのような準備をするのかというような、これまでの発想を超えて取り組んでいこうという思いも込められています。

プロジェクトIFでは、「人命等を守る」、「内水を貯める」、「内水を流す」を3つの柱として位置付け、内水監視カメラ、浸水センサーを設置し、これらを閲覧できる佐賀県防災・緊急マップの公開、ダム、農業用ため池、クリーク等の事前放流、田んぼダムの取組、河道に堆積した土砂の除去や河道整備、排水機場の機能向上、排水ポンプ車の導入など、できることから順次取り組んでいます。

人命等を
守
る

- 内水監視カメラ等活用
- 避難タイムライン等
- 農業機械避難等

内水を
貯
める

- 田んぼダムの推進
- ダム・クリークの事前放流
- ため池の貯留機能向上

内水を
流
す

- 排水ポンプ車の導入
- 排水機場の機能向上
- 河川整備、浚渫・伐採

このような取り組みを進めているところですが、佐賀県は、低平地という特有の地形をもつため、大規模な水害がいつ起きてもおかしくない状況にあります。

このため、人命を守ることを第一に、被害ができる限り軽減されるよう国、県、市町で連携し、この「プロジェクトIF（イフ）」を引き続き進めていきます。

また、昨今は、気候変動に伴い激甚化・頻発化する災害や、高齢化する社会情勢の変化により大規模災害時における「公助の限界」が改めて見直

されているところであり、「自助」「共助」「公助」のバランスが取れた防災・減災対策を確立することが、これから更に重要となっていると考えています。

【九州地方治水大会の開催】

さて、開催地となります佐賀県では、本年10月30日から11月3日にかけて嘉瀬川河川敷において2025 佐賀インターナショナルバルーンフェスタが開催されます。

他にも佐賀県には、世界文化遺産に登録が決定された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産で

ある三重津海軍所跡や吉野ヶ里遺跡などの歴史遺産をはじめ、魅力的な観光資源や特産物がたくさんございます。是非、佐賀県にお越しいただき、佐賀県の魅力を堪能していただきたいと思います。

皆様のお越しを心からお待ちしております。



佐賀インターナショナルバルーンフェスタ
(嘉瀬川：佐賀市)

防災ネット あんあんアプリ

県内110箇所に設置する道路・河川・クリーク・ため池の監視カメラの映像と

県内301箇所の浸水センサーにより

「佐賀県防災・緊急マップ」で

リアルタイムの県内の浸水状況が確認可能!

～ カメラ映像の一例 ～

県道別府津停車場線 (多久市)

令和7年1月から、**！！言語に対応**するようになりました。

すい坊くん (河川砂防課)

PC (<http://kasen.pref.saga.lg.jp/gispub/>)

スマホ版 (http://kasen.pref.saga.lg.jp/river_sp/)

ガラケー版 (<http://kasen.pref.saga.lg.jp/fp/>)

スマホ用

ガラケー用

カメラ情報

他にこんな情報も!

- 雨量
- 潮位
- ダム
- 風向風速
- 排水機場

スマホ、ガラケーで二次元コードを読み取って、「すい坊くん」へアクセスできます。